

登別小学校保護者 各位

登別市立登別小学校長  
上 渡 秀 一

保護者アンケート・児童アンケートの集計結果（後期）について

6月中旬から下旬にかけてWeb入力方式で行いました保護者アンケートに対しましては、多くの保護者の方にご協力をいただき誠にありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、児童アンケート集計結果と合わせてお知らせいたします。

保護者アンケート

1、回答数 123（92.5%） ※前回 124（93.2%） ※前々回 116（87.2%）

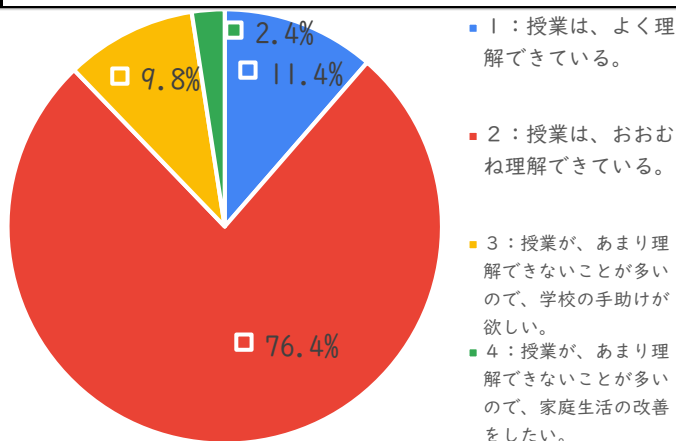
※パーセンテージは、児童数を100と見た時の回答数の割合です。（今年度児童数133名）

ご回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。

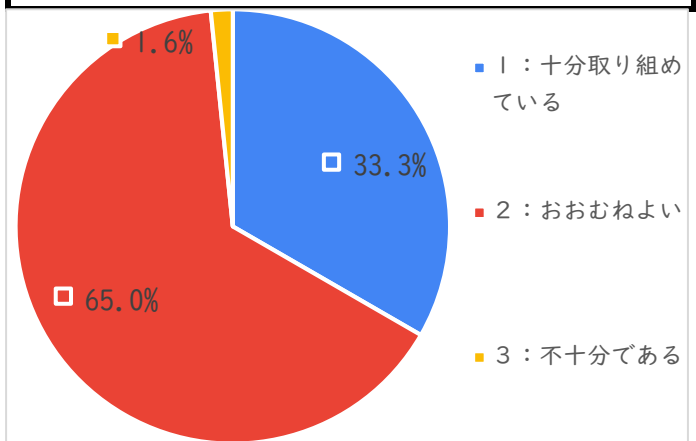
2、集計結果

（1）学校の取組について

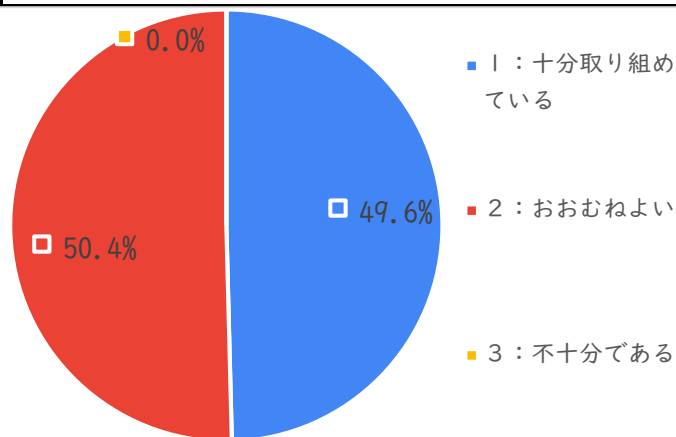
1. 登別小学校は、『共生』（すべての子どもが）、『協働』（楽しく学び合い）、『表現』（わかる・できるを実感し）、『継続』（自ら学びを積み重ねていく）をキーワードに、子どもたちがお互いを高め合える授業を目指しています。お子さんの状況に近いのは、どれでしょうか。



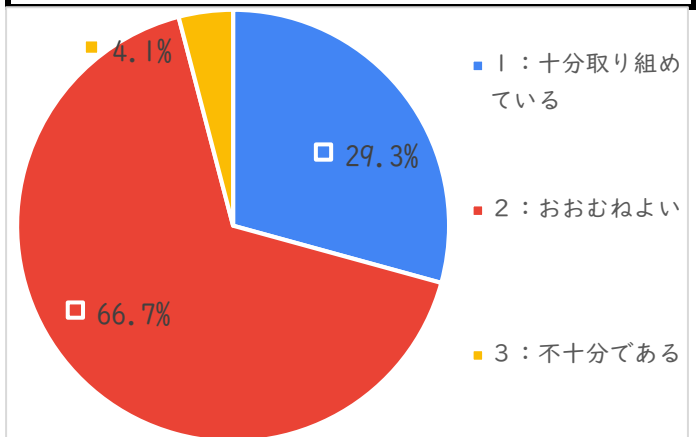
2. 登別小学校では、「心豊かで自他の違いを認め合える学級づくり」を目指し、道徳教育や読書活動、学級活動、日常の学級経営などに取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。



3. 登別小学校では、「たくましく生きるための健康や体力づくり」のため、アウトメディアチャレンジ、とんぼタイム、体育コーディネーター（外部講師）、歯みがき指導などを行っています。この取組について、どう思われますか。

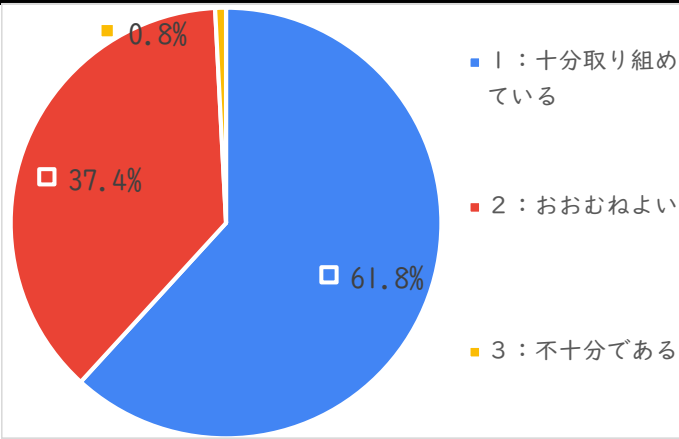


4. 登別小学校では、いじめ防止基本方針に基づいて、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。

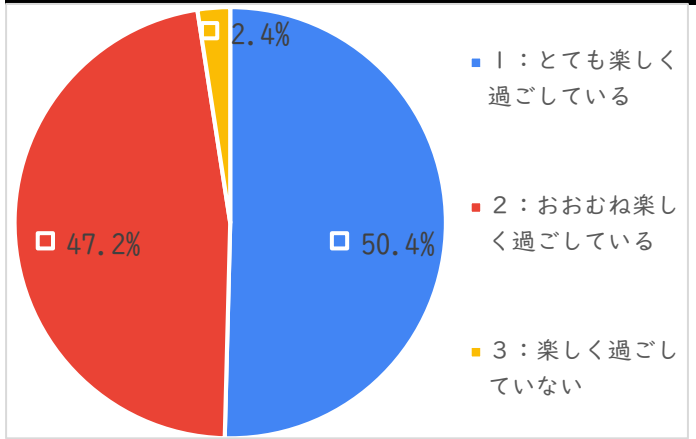


本校の教育目標である、よく考える子(知)・体をきたえる子(体)・仲良く助け合う子(徳)・がんばりぬく子(意)のそれぞれの面で、おおむねよく取り組んでいるという評価をいただきました。ただし、昨年後期アンケートの結果と比較すると、十分よい旨の回答値が1.2.3.4のいずれも約5～10%程度減少し、概ねよいとする回答値にスライドしていることがわかりました。特に、1.の「学習の理解」については、**今後とも、個に応じたきめ細やかな指導に努めてまいりますので、ご家庭でも、家庭学習の励まし声、協力をお願いいたします。**また、4.の質問については、すべてのお子さんが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、**今後とも、いじめの予防的指導、積極的認知、早期発見・早期解決に努めてまいります。ご家庭でも、お子さんの様子で気になることがございましたら、いつでもご連絡ください。**

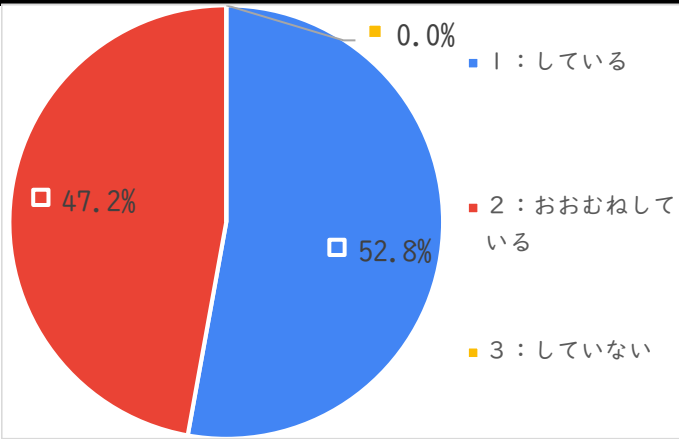
5. 登別小学校では、学校だよりや学年通信、ホームページ、YouTube、さくら連絡網によるメール配信などにより、情報をご家庭に伝えています。この取組について、どう思われますか。



6. お子さんは、学校生活を楽しく過ごしていると思いますか。



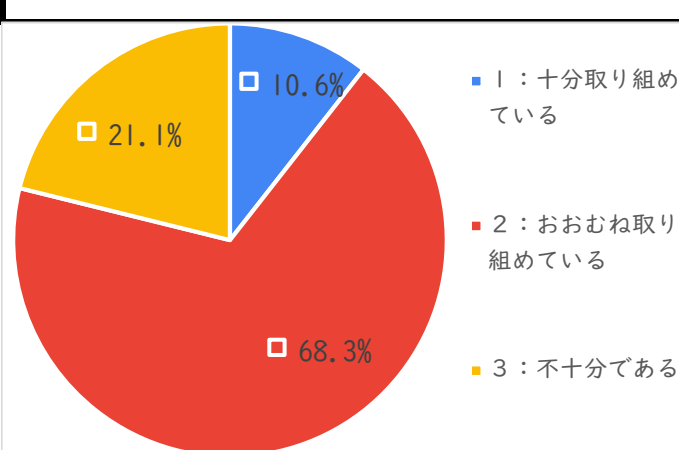
7. 担任は、必要に応じ、お子さんの話を聞いたり、相談にのったりしていますか。



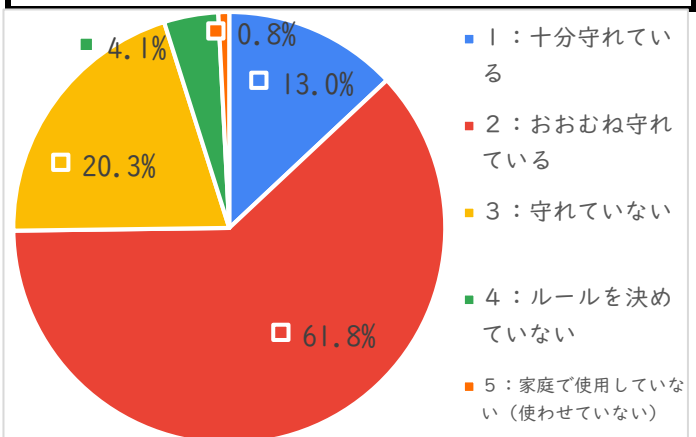
5. の学校からの情報発信については、「(おおむね)十分である」旨の回答を多くいただいております。今後とも、丁寧かつスピーディな情報発信・情報共有に努めてまいります。ご家庭でも、お子さまや学級についてご心配・気になることがございましたら、その都度、気兼ねなくご連絡ください。6. の子どもたちの学校生活については、肯定的回答値は約3%程改善しております。一方、約3%のご家庭が、学校で楽しく過ごしていないと感じていらっしゃる事実は、重たいものと受け止めております。7. の質問では、各種教育相談の取組等に関して、すべての保護者様に肯定的に回答いただいておりますが、『十分・・・』から、『概ね・・・』に肯定回答値が約17%程度スライドしておりました。お子さんが楽しく学校に通えること、困ったことは、先生にきちんと相談できることは、学習の理解や健やかな成長もさることながら、保護者様にとっての大切な願いの一つと存じます。今後も学校は、6月上旬、11月中旬の教育相談期間以外にも、オンライン教育相談や、朝の健康観察など、いつでもきめ細やかな観察と、お子さんごとの悩みに応じた対応に努めます。4. のいじめに関する対応も含め、今後も何かございましたら、お気軽に学校や担任までご相談ください。また、本校には、約2週間に1回の木曜日午前中、スクールカウンセラーが来校しますので、こちらのご活用や、定期的にさくら連絡網でお知らせしている各種相談窓口のご活用もご検討ください。

## (2) 家庭での様子について

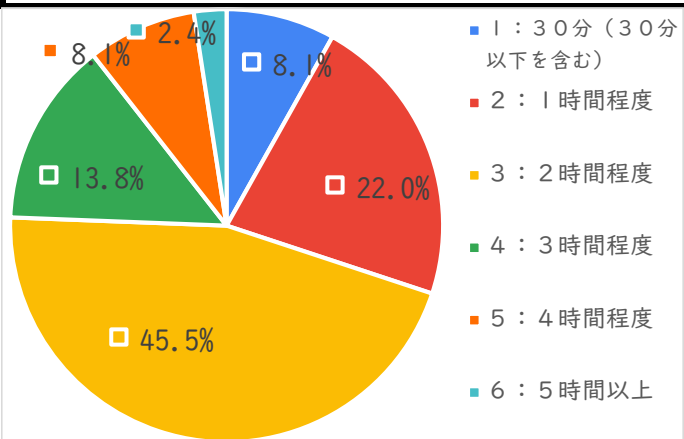
8. お子さんは、学年に応じた時間(学年×10分以上 ※4年生 4×10=40分以上)、家庭での学習に取り組んでいますか。



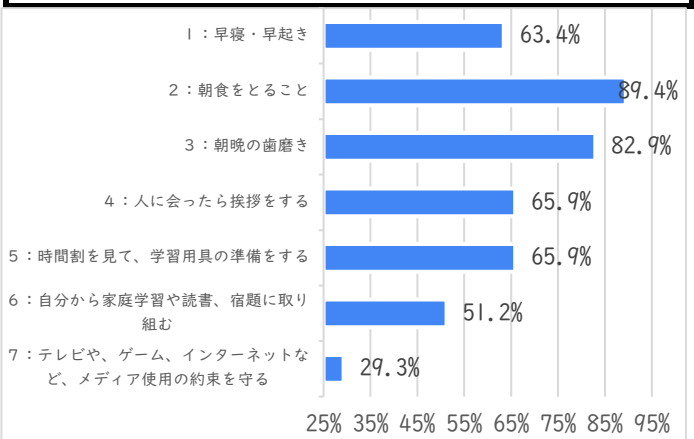
9. お子さんは、スマートフォンやタブレット機器、ゲームなど電子メディアの使用時間、SNSの使い方について、ご家庭での約束を守れていますか。



10. お子さんが家でゲームやスマートフォン(タブレット)、テレビ、インターネット、メール、SNSなど電子メディアに触れている時間はどれくらいですか。



11. 現在、お子さんに身に付いていると思う生活習慣はどれですか。あてはまるものを全て選んでください。



8. 家庭学習については、十分、またはおおむね取り組んでいると感じている保護者が、全体の約79%となりました。これは、前回のアンケートから約8%の改善ですが、「十分・・・」とする回答が「概ね・・・」とする回答へ5%近くスライドしております。9. 電子メディア使用の約束については、前回と概ね数値の変動はありませんでした。(ただし、これは、「概ね」→「十分」へ約3%のスライドが認められました。) **児童アンケートと比較すると、『電子メディア使用の約束』については、約91%の児童が、「家での約束を守れている」と感じており、「約12%程度の意識の違い」が見取れます(保護者の方が厳しい視点)。また、児童アンケートでの、『家庭学習の時間に関する質問』では、学年×10分以上学習していると回答した児童の割合は全体の「67.2%」、でこの回答値は、前期と比べ児童でも2.5%程度下回る結果となっており、今回のアンケートでは、児童と保護者様の間で、約12%程度の意識・認識の違い(児童の方が厳しい視点)が感じられました。今後とも、家庭学習の「時間」と「内容」「取り組み方」については、中学校進学までに、お子さんの様子を見取り、褒め・励ましながら、学習習慣の定着を目指していくとよいですね。家庭学習の実際取組とあわせ、毎日の家庭学習チェックシート(タブレット端末)の時間・内容等の入力や、週末の「めあて・振り返りの入力」については、保護者様も一緒にタブレットの確認をお願いいたします。**

10.のメディアに触れている時間については、学校で子どもたちに話している一日2時間以内となっているのは、約30.1%。2時間以内で約75.6%程度という回答でした。児童アンケートと比較すると、2時間以内と感じている児童は約66.4%でした。逆に、電子メディアにやや触れ過ぎと感じる、4時間以上と感じている保護者様は10.5%、児童は15%という結果でした。もしかしたら、保護者様が知らない時間帯にメディアに触れている、ということもあるのかもしれません。**「気が付いたら、ゲームやスマホに触っている」「テレビを何となくつけっぱなし」「インターネットをとりあえず接続しっぱなし」「家庭学習はしているようだけど、「～しながら」の時間の方が長い」という状況は、各ご家庭にないでしょうか。**改めて、ご家庭でも、勉強については「時間」「取り組み方」「内容」について、電子メディア接続については、「ルールを守っているか」「だらだらとつけっぱなし・ケジメがないということがないか」「危険なサイトにつないでいないか」など、ご確認、ご指導いただければと思います。

最後に、子どもたちに身に付いていると感じる生活習慣については、「早寝・早起き」「朝食をとる」「朝晩の歯磨き」が微増、「挨拶」「学習用具の準備」は横ばい、「自分から家庭での学習・読書に取り組む」が5%程度の改善、「メディア使用の約束」については、12%程度の減少。という結果となりました。この結果と9番の質問結果との矛盾については、9番の質問の「概ね」の具合に対するそれぞれの保護者様のお考えによるところかもしれません。

**宿題以外の学習、いわゆる「家庭学習」にどう取り組むか、何に取り組むかは、保護者様にとっても頭を悩ませる問題とは思いますが、「ノート」「ドリル」「読書(教科書や、自分の好きな物語など・・・)」「家事手伝い(家庭科)」「調べ学習(タブレットをつかって)」「予習」「復習(解き直し)」「リコーダーの練習」「テスト前勉強」などなど、やること、やれることはたくさんあります。都度お子さんと話し合いながら、励ましの声をかけていただければと思います。毎週の時間割の下段に、学年によってはおすすめの家庭学習を記載しておりますので、そちらもご参考にしてください。**

### (3) 自由記述欄から

※ 担任や児童の個人名、クラスが特定される文については、一部修正しておりますことをご了承ください。この場合、修正は最小限にとどめ、赤字にしております。それ以外については、基本いただいた原文のまま掲載いたします。  
 なお、個別のご心配、お悩みについては、学校や担任から直接保護者様にご回答・ご連絡を差し上げるなど、ご対応させていただきます。何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ タブレットが重い。  
 数字やひらがなの読み込みがうまくいかずイライラしている。  
 wifiが繋がっていないので児童館で宿題ができない。  
 タブレット使用の説明が分かりづらい。  
 運動会のリレーがグラウンド4分の1だと短い(幼稚園のリレーの距離の方が長く見応えがあった)

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。  
 上記大きく前半4点(タブレット関連)と、後半1点(運動会関係)に分けてご回答申し上げます。

→ <タブレット端末関係に関するご回答>

①市内また、本校に貸与・整備されているタブレット端末の重量は、1.32kg、一般的な教科書の重量が概ね250g程度(平均)といわれておりますので、5冊分の教科書を毎日持ち帰っている計算となります。この重量が、低学年にとって決して軽いものではないことは、おっしゃる通りでございます。学校としましては、令和5年度より、一部教科での教科書の学校保管(いわゆる置き勉)を進めているところでございますが、加えて、教科書以外の、絵の具セット、習字セット、裁縫セット等、時期に応じて集中的に使用するものについても、その一定期間、学校において(筆は除きます。)対応しております。他の道具や教科書等の置き勉についても、児童の健康・安全面と併せて、引き続き検討を重ねてまいります。現状としましては、致し方ない部分もございますことを、ご理解いただけますと幸いです。

→ ②タブレット端末の性能については、国のギガスクール構想に基づいて、自治体により、各校に端末が整備された令和2年度の国の動作基準に準拠しております。オペレーションシステム(OS)の度重なる更新や、学校での活用状況が進むにつれ、端末の性能が徐々に追いつかなくなるのは、本校で使用している端末も、例外ではございません。お子さんが、スムーズに学習に使用できないことがある状況が生まれてしまっていることは、大変心苦しく存じます。学校としましては、できるだけ、学校での使用の際はWi-Fiの電波が十分に飛んでいる空間で使用することを基本とし、バックグラウンドで動作しているアプリケーションがないか(開きっぱなしのタブが多いほど、動作は重たくなります。)、OSのアップデート機能が動いていないか、折に触れて、児童の端末を確認しておりますが、ご家庭でも、不必要なタブは閉じて使用するなど、端末のメモリを開放しながら使用できるよう、見ていただければ幸いです。

→ ③学校で児童・保護者様に貸与しております一人1台端末は、Wi-Fi設備が整っている場所、テザリングが使用できる場所であれば、どこでも使用可能となっております。児童クラブについて(後述いたします)は、学校内にございますことから、登別市が全学校に整備しておりますWi-Fiを使用することが可能です。一方、児童館につきましては、当然のことながら学校と離れた設備(なおかつ、管轄は教育委員会ではなく、市の保健福祉部局です。)であることから、学校のWi-Fiは使用できません。学校としましては、市の保健福祉部局に対し、児童クラブでの宿題実施にかかる本校のWi-Fi設備利用について、また、合わせて、可能であれば児童館にもWi-Fiを、という話はしており、要望は継続してまいります。児童クラブと児童館は設置目的が違うこと、また、実際にWi-Fiを設置することとなるのは、学校でも、市教育委員会でもなく、市の担当課となりますので、利用者(受益者)から、市の窓口に対し、直接お問い合わせいただいたり、要望していただいたりすることも、一つの考えかと思っておりますので、ご一考ください。なお、タブレット端末型の宿題が、上記理由により困難である場合、場合によっては、そのお子さんのみ、プリントなどの宿題に切り替える対応も検討いたしますので、個別に担任までご相談いただければと思います。

→ ④学校、ないし、担任より、保護者様にお知らせしております、説明の文書がわかりにくかったと推察します。結果として、保護者様の一人一人に寄り添えない対応となりましたこと、大変心苦しく存じます。学校としましては、ご家庭の皆様が、ご自宅端末を活用する際の接続方法、活用方法について、ご質問をいただければ、担任に限らず、本校の情報教育担当教諭、管理職なども、様々なもので、ご対応また、ご質問をお受けすることが可能です。いつでも、不明な点がありましたら、学校までご連絡をいただければ、説明できるかと思っておりますので、ご連絡いただければと存じます。

→ <運動会のリレー種目に関するご回答>

⑤運動会の実施に際し、たくさんの応援や励まし、誠にありがとうございます。いただいたご意見につきましては、昨年度まで、選手選抜のリレーを行ってまいりましたが、児童数が減少の傾向にあること、併せて、選抜といっても、クラスの半数以上の児童が選抜または補欠となる状況も生まれてきたこと、運動会の開催方法の変更に伴い、いわゆる運命走を廃止したことで、児童全員が、活躍する機会が若干少なくなったこと、走力の充実・向上が、本校の体力向上の課題の一つであったことなど、様々な理由から、全員がリレーに参加する、『全員リレー』の形式で、種目を増やす・変更することといたしました。一方、運動に苦手意識が多いお子さんも少なからずいらっしゃることで、全体の時間配分、低学年の体力等を考慮し、今年度初めての取組であることから、今年度は、低学年は1/4周、中学年以上は半周の対応で種目を実施することとした次第です。近隣幼稚園や保育所の運動会も、小学校の運動会よりも、二回り程小さいトラックで、もしかしたら半周、場合により一周走っていらっしゃるかもしれませんが、保護者様の見ごたえに十分に比べられなかったことを、お詫びいたしますとともに、上記のような検討と理由でありますことを、ご理解いただければ幸いです。なお、学校としましては、実施方法、児童の走る距離、種目自体も含め、限られた時間の中で、子どもたちにとってより教育的効果の高い運動会・またその練習時間となるよう、いただいたご意見も含めながら次年度の運動会の計画に着手してまいります。

◆ いじめ早期発見の対策はどのようなものでしょうか。

→ ご質問、誠にありがとうございます。まず、本校の基本的ないじめ対策については、4月当初に、保護者様に、数枚のプリントでお知らせしておりますとともに、本校HPにも、その対策方法等について基本方針として掲載しておりますので、そちらをご確認いただくのがよろしいかと存じます。

学校で行っている早期発見の対策としましては、まずは、日常的な、担任と、児童とのやりとり、会話の状況、児童の表情や様子の観察が第一となります。加えて、朝の健康観察で実施している『体と心の健康観察』において、心情がすぐれないような回答をしているお子さんに対しては、担任や、養護教諭、他の職員で、その情報を共有し、組織的に必要に応じてお子さんにお声かけすることとしております。このほか、定期的な教育相談期間、日常的な生徒指導、オンラインでの悩み相談室、など、様々な方法で、いじめ、またはその芽につながるものがないか、見守っておりますが、一方、友達関係、人間関係で生じる、お子さんにとってのいわゆる『いやなこと』は、学校だけで起きるものではありませんし、先に、保護者様が、その機微を感じていただけることも、十分にあり得ることかと存じます。ですので、担任と、保護者様が、これから先も十分に連携をとって、お子さんの健やかな成長、安全・安心な学校生活につなげてまいりたいと思っております。あわせて、学校生活における子供たちの成長の陰には、やはり、人間関係の一定のいざこざや、ストレスのかかるやり取りがあることもあり得ることと承知しております。学校としましては、話し合いや、自分にとって意見・考えが合わない人同士でも、健全に高め合い成長できること、また、お互いの個性・人権を尊重しあい、自分を大切にしながら、相手意識をもって他者とかわることができるよう、引き続き、指導・支援してまいります。お子さんご様子で、気になる変化や、学校と情報共有が必要なことがございましたら、小さなことでも、いつでも学校にご連絡をいただければと思います。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆ 行事等の(運動会・発表会等々)重要な詳細を記した学級通信は、子供に渡すのみで無く、さくら通信網にUPして欲しいです。子供が学校でもらっても無くしたり、学校を休んでプリントを貰わなかった場合でも確認が容易である為お願いいたします。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。お子さんが、紙面配付されたプリントをなくしてしまった、また、カバンの中で、ぐちゃぐちゃに・・・ということは、今も昔もあり得ることかと存じます。保護者様のお気持ちは、十分に共感できます。現在も、タイムリーに保護者様にご確認いただきたいプリントを配付する際、お子様がお休みされた場合や、また、学級の実態、プリントの内容によっては、さくら連絡網と併せて、また、毎日自宅端末のclassroomを確認することが決まっている学級では、お子さんの学級のclassroomに・・・など、様々な方法で、保護者様への情報提供、また、情報共有を図っているところでございますが、一つの情報提供に対して、さまざまな手段で並行して発信することは、発信の主体となる担任にとって、一定程度的手間と時間がかかることも十分に理解いただければと存じます。基本的には、紙面配付の上、お子様がプリントをなくさないように、また、確実に、保護者様にお渡しするように、低学年のうちから、継続的に指導してまいります。ご家庭でも引き続き、毎日ランドセルや連絡帳の袋をご確認いただくなど、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。ご頂戴したご意見につきましては、効率的・効果的な情報提供・情報共有の手段として、引き続き校内でも協議・検討してまいります。また、その際、プリントの内容によっては、『学級通信や連絡は、さくら連絡網のみの電子配付とし、印刷配付しない。』という判断についてもあわせて検討してまいりたいと存じます。

◆ タブレットの宿題だと児童クラブではやらせてもらえないのが困っています。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。この点につきましては、前述のご意見にて一定程度ご回答しておりますが、学校の校舎内にある児童クラブは、学校内に市教育委員会が整備しましたWi-Fiの電波を受診することができますので、児童クラブでは、技術的には問題なくタブレット端末を活用することができます。本件に関しましては、学校から、市の担当課へ確認し、『本校に限らず、市内各校において、タブレット端末の持ち帰りが進み、宿題もデジタルな取組が進んでいくことから、特段の事情がなければ、宿題については、プリントと同様に、タブレット端末でさせていただけないかどうか』について打診しております。また、市の担当課、また、児童クラブにおいても、そもそも、学校のWi-Fiが、児童クラブで使用できることをご存じなかった様ですので、本件に関しましては6月下旬段階で、使用可能になっているものと思います。学校では、タブレット端末使用型、プリント型等、状況に応じて、お子さんに宿題・課題をだしたり、家庭学習の取組を促してまいります。引き続き、保護者様におかれましては、児童クラブ以外の例えば自宅でも、じっくりと学習に取り組むなど、励ましのお声かけや家庭学習状況の確認(入力内容の補助・修正)にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 運動会お疲れ様でした。

今年から開会式・閉会式を移動なしでの開催、観覧席から子供達の顔が見れて良かったです。

選手リレーがなくなったのは残念です。

練習時間の確保など難しいとは思いますが、足が早い子の活躍の場があってもいいのではないのでしょうか。

各々の児童が得意な能力を伸ばす事、「これはみんなに負けない！」や「みんなよりもっと上手になりたい」と言う競争力を育む為、もっと個人の種目を増やして欲しいと思います。

→ 貴重なご意見、ならびに、ねぎらいのお言葉、誠にありがとうございます。前述のご意見のご回答の中で、触れておりますが、代表選手リレーをなくし、全校(低・中別)リレーに変更した経緯は、児童数が減少の傾向にあること、伴って、選抜といっても、クラスの半数以上の児童が選抜または補欠となる状況も生まれてきたこと、運動会の開催方法の変更に伴い、いわゆる運命走を廃止したことで、児童全員が、活躍する機会が若干少なくなったこと、走力の充実・向上が、本校の体力向上の課題の一つであったことなど、様々な理由からによるものであり、ご指摘の中にありますとおり、「代表選手のみ」練習時間確保が困難であることも、大きな理由の一つでございます。学校としましては、保護者様ご指摘中にありますとおり、児童それぞれが自らの得意なことをもっと伸ばすことや、一定程度の競争心や人より上手になりたいという気持ちも当然大切なことと認識しております。選手リレーではなくなりましたが、児童全体には、『より速く、より上手に、チーム一丸となって』に、という気持ちを喚起しながら、指導・支援に努めてまいりたいと存じますので、何卒ご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 宿題がプリントからタブレット中心になったことで、児童クラブでは出来ず、帰宅後取りかかるまでが大変でした。夕飯は19時を過ぎるので、料理中やってほしいのですが、一人では分からないと泣くこともあり、宿題に取りかかるのも寝るのも遅くなってしまいました。最近クラブでの使用が可能になり本当に良かったと思います。

→ 貴重な情報提供、誠にありがとうございます。家庭の生活時間やそれに伴う子育てのご苦労もその家庭それぞれと共感いたします。学校としましては、早寝・早起き・朝ごはん、タブレットの時間制限、読書や家庭学習の励行、生活リズムを整えよう、など、さまざまなご提案とお願いを保護者様にさせていただいておりますが、児童クラブで、宿題に取り組めることが、一つご家庭での明るい材料につながったり、生活リズムの改善につながるのであれば、幸いに存じます。引き続き、何かご相談事がございましたら、学校までご連絡いただければと存じます。

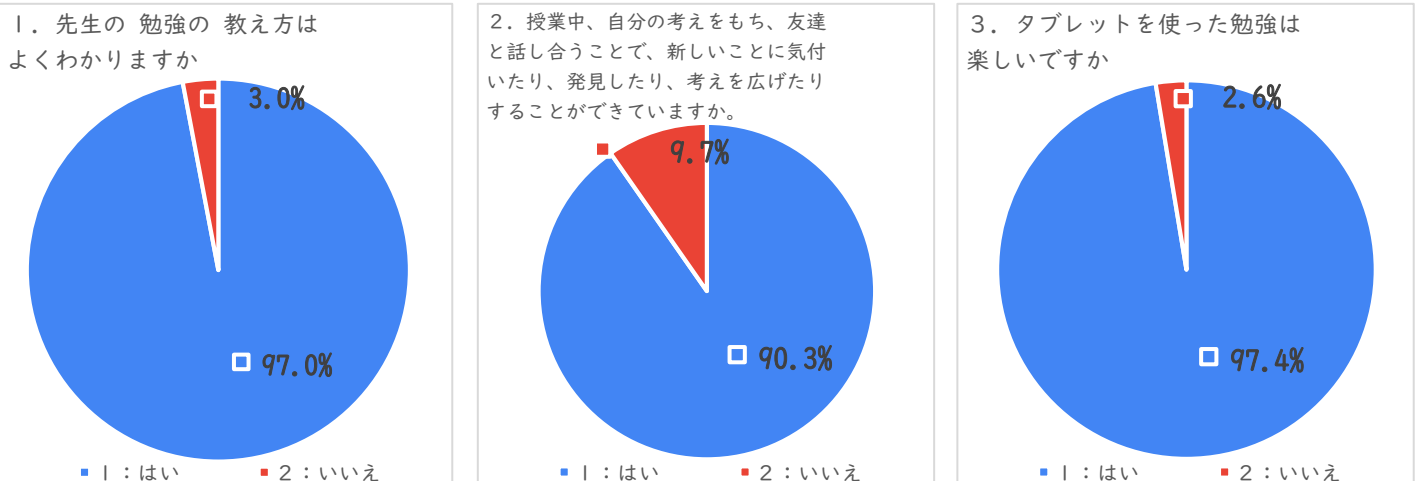
◆ 家では約束事を決めても守り切れない事が多く、その都度注意しています。

→ 貴重な情報提供、誠にありがとうございます。おそらくは、たくさんのご家庭において、適切に約束事を決め、都度しっかり話し合っても、時にはお子さんが約束を守れないことがあるなど、それぞれのご苦労を抱えながら子育てをされていることと思います。学校でも、家庭生活につながるような基本的な約束事(上記回答にも記載)については、繰り返し学級で指導・説明を繰り返しておりますが、保護者様と、学校が、お子さんの状況について情報を共有しながら、連携していくこと、足並みをそろえて指導していくことも、とても大切なことと思います。引き続き、お子さんのことで、困りごと、相談したいことがありましたら、気軽に学校までご連絡いただければと思います。学校でも、引き続き、学校にかぎらず、地域社会や家庭でのルール、マナーをしっかり守ることの大切さについては、声掛けてまいります。

◆ 以前のような、学級レクなど子供と一緒に給食食べたりするような機会があればいいなと思います。

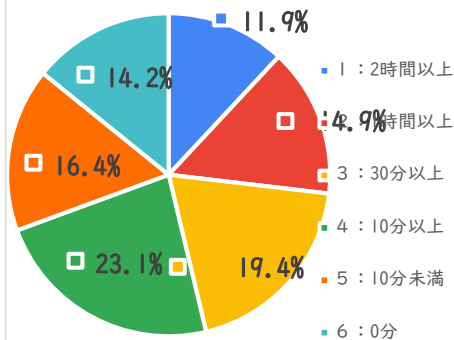
→ 保護者様と、学校やそこに通う子どもたちが、相互にかかわったり、交流したりできることとても大切なことと存じますが、こちらにつきましては、実際に、企画・運営をしていただく学年委員さん(集約、お金を集める、支払う、事前準備等含め)のご負担、この学年だけする、あの学年はしない、などの公平性もありますことから、PTA3役会に、いただいたご意見を伝え、慎重に、ご協議していただきたいと思っております。率直に学校現場の実態でお話するならば、昨今の授業時数の増加等に伴い、一昔前にどこの学校でも行っていた、いわゆる「学級レクレーション」を実施する『時間を確保することが難しい』ことは現実ですが、例えば、昨年度は、冬に開催した豆まき集会の際に、お手伝いにご協力いただいた保護者様を対象に給食試食会を実施する形で、普段お子さんが食べている給食について知っていただく機会を設けました。これは、あくまで、保護者同士の交流にとどまっておりますが、このような形を含め、皆様が負担の少ない、持続可能な形での交流の在り方も含め、PTAで協議していくことも必要かと思っております。貴重なご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。

児童アンケート ※1名アンケートに2回回答した児童がいるため、生データのまま、134名(実際は133名)で集計しております。

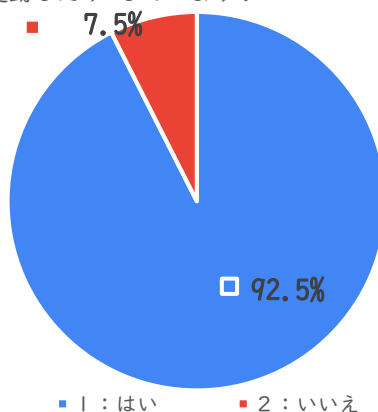


1. 勉強の教え方、2. 学習中の友達等との「対話」、3. タブレットを使用した勉強については、前回のアンケートと、ほぼ数値の変動はありませんでしたが、いずれも微減しております。今後も、教師自身の「教え方」の改善だけでなく、ときには子供たちどうしで、ときには自分で、など、様々な方法で、「よりよく学びを深められる」よう、授業改善を進めてまいります。

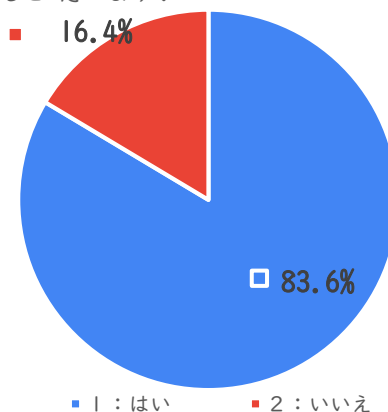
4. 学校の勉強時間以外に、普段（月から金）一日あたりどれくらいの時間読書を読みますか



5. すすんで体を動かしたり運動したりしていますか



6. 自分にはよいところがあると思いますか

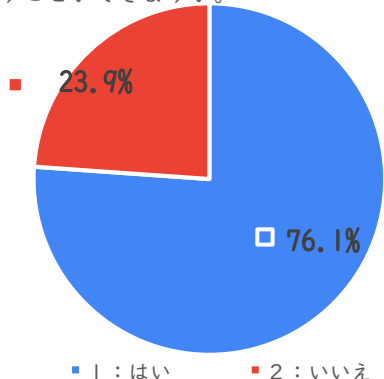


4. の読書時間については、0分の子が全体の約14.2%と、前回から、約9%改善しました。引き続き、一日短時間でも、また、**家庭学習でじっくり本を読む**など、取組のご協力をお願い申し上げます。例えば、**アウトメディア読書デーの取組（月2回第1・3水曜日）**に合わせ、**メディアに触れずに、親子で本に親しむ時間をとるのもいいですね。お子さんに学習や読書を勧める傍らで、「家族がタブレットやスマホをさわっていたり、テレビを見ている。」**ということがもしありますと、お子さんの学習や読書の習慣づけには一定程度の妨げになりますので、引き続きのご協力をいただければ幸いです。

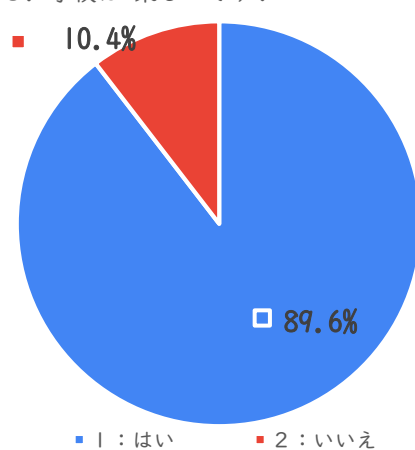
5. の運動に関する質問については、しばらく右肩下がりが続いておりましたが、今回約4.5%の改善が認められました。引き続き、体育の学習はもちろんのこと、休み時間や放課後にも、たくさん運動に親しめるよう、声掛けを続けてまいります。

6. の自己肯定感に関する回答は、約2%程度の改善が認められたものの、依然として16%近いお子さんが、自分にはよいところがあると、回答していないことが気になります。自分のことを自分で大切にできること、認められること、は、これからの長い人生を生きていく子供たちにとって、とても大切なことです。今後とも、ご家庭でもお子さんが、『**かけがえのない存在である**』ことを、折に触れて話題にしてくださいませ幸いです。

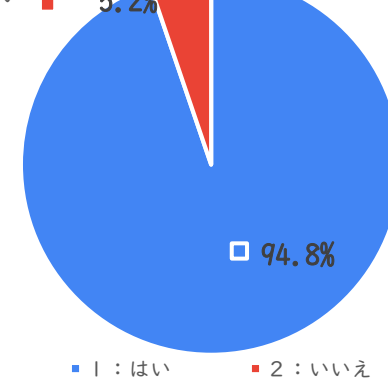
7. 自分の思っていることや感じていることを、言葉にして話すことができますか。



8. 学校は楽しいですか



9. 思いやりや優しい気持ちで周りの人とすごしていますか

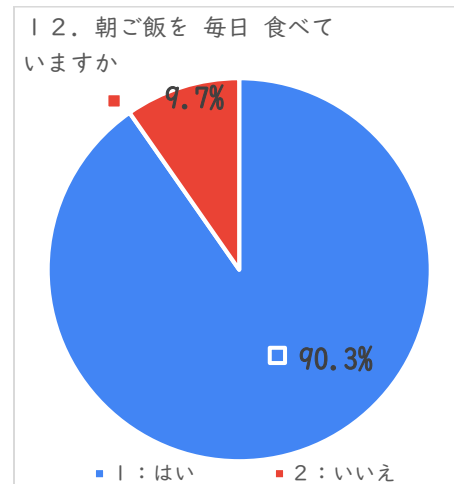
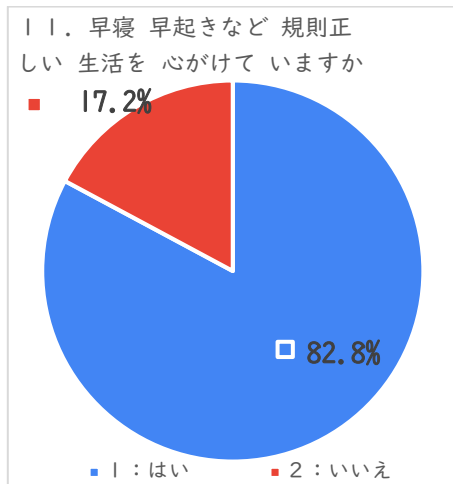
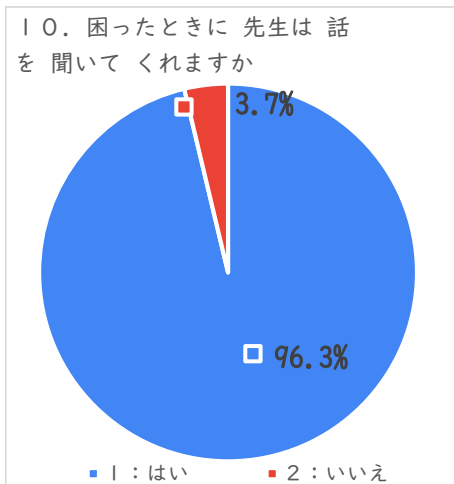


7. 8. 9. の質問は、それぞれ、ほぼ数値の変動がありませんでした。

7. の質問では、約24%の子供たちが、自分の思いや考えを、言葉にして話すことを苦手に行っていることが分かります。先ほどの2. の質問とも関連しますが、『自分の考えを、きちんと伝える。』『相手に分かるように伝える』など「相手意識」をもって話したり書いたり、時には聞いたり、受け止めたりできる子どもたちを、ご家庭と協力して育てていきたいと思っております。（この力は、SNSなどによって、直接的なコミュニケーションが減少してきている現代だからこそ、重要な力です。）

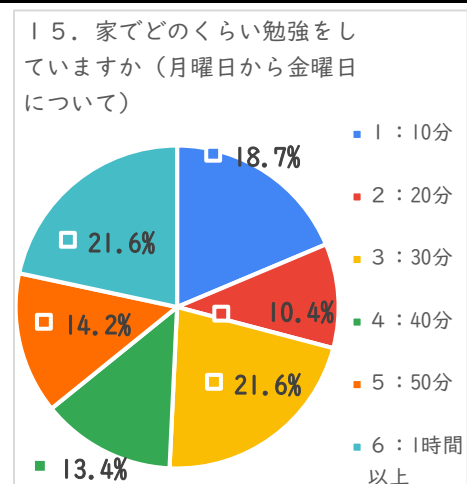
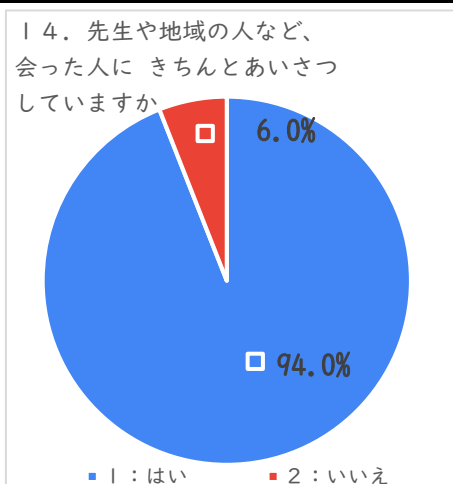
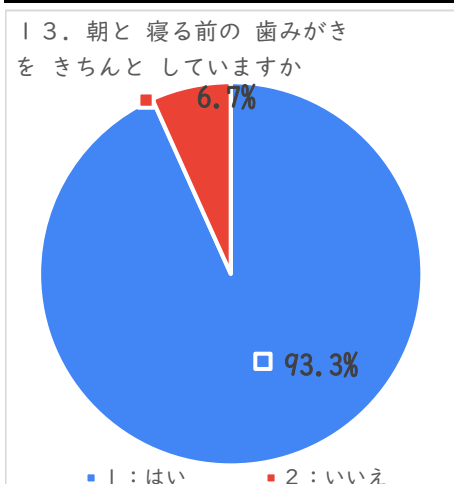
8. の質問では、約1割のお子さんが、学校が楽しいと感じていない（感じないことが多い）ことは、とても大きなことです。子供たちが、学校を楽しんでいる要素は、その子によって当然ばらつきがあるでしょうが、『学習（その日の教科の内容、理解度）』『人間関係（大人・子供含めた）』『生活リズム（十分な睡眠・食事）』など、大きく3つの要素があると考えます。この辺りは、個々のお子さんの状況をつぶさにみながら、改善に努めてまいります。引き続き、保護者様のご協力をお願い申し上げます。

9. の質問は、当然のことながら、学校ではどのお子さんにも、『大切な思いやりの芽、思いやりの心』があるものとして、指導・支援しております。その芽が、日常の教育活動で、様々な友達や、上級生・下級生とのかかわりで、しっかりと表現（言動）できるよう、引き続き指導・支援してまいります。ご家庭でも、お子様が保護者様の背中を見て、思いやりの気持ちの芽を大きくすることができますよう、引き続きのご協力をお願い申し上げます。



10.の質問では、大きな数値の変化はありませんでした。保護者アンケートの7.とも関連いたしますが、今後も子どもたちの困り感をつぶさにキャッチし、適切に対応できるよう、努めてまいります。

11.12.13.については、それぞれ、毎日の生活と、健康を支える大切な習慣です。11「早寝・早起き」については約7%、12「朝ご飯の習慣」は約5%、13「歯磨きの習慣」が約2%、それぞれ改善しております。誠にありがとうございます。**早寝・早起き、朝食、歯磨きについては、引き続き、ご家庭のご協力をお願いいたします。**

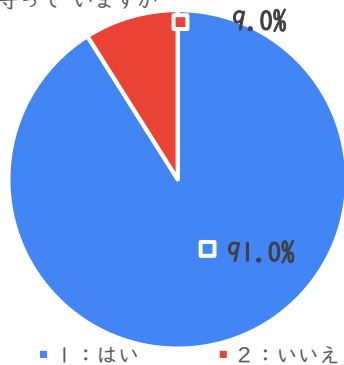


14.の挨拶に関する質問は、ほぼ変動がありませんでした。先日の学校運営協議会では、委員の方から、地域での子供たちは、挨拶をしっかりすることができる子が多い、とお褒めの言葉をいただいておりますが、保護者アンケートでは、身に付いていない、と感じる保護様が約35%。『挨拶されたら返すけど、自分からは・・・』という感じなのかもしれません。**「子供が、『進んで』挨拶する。」という状況になるのは、日常的な習慣や、周りの環境によるところも大きいです。親御さんが、お子さんと一緒にお出かけしているときなど、まずは『大人が』進んで挨拶すること、その時に一緒に挨拶することで、お子さんにも、それが自然なものとして身に付いていく一面もあります。(これは、本当に小さいうちからとも言われています。)学校でも、まずは教師が率先して挨拶、をこれからも大切にしていきます。**

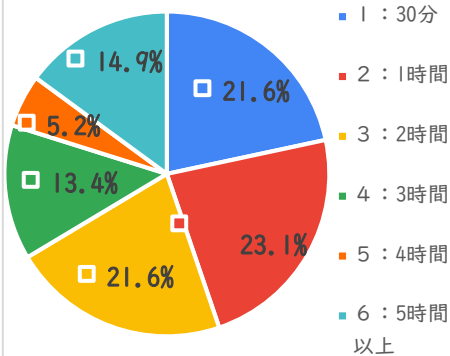
15.の学習時間については、保護者アンケート考察にも記載しましたとおり、家庭学習は、**時間と同様に、どんなことに取り組むか、どんな風に取り組むかがとても大事です。テレビに意識が傾いている、なんとなく座っているうちに時間はたった。ということのないよう、今後ともお声がけをお願いいたします。**

お子さんの学習の望ましい習慣付けのために大切なのは『学校から「やりなさい」といわれている。からやる。』『出さないと先生から『叱られる・怒られる』からやる。』『休み時間をつぶして勉強しないといけなくなるからやる。』などのいわゆる『賞罰感覚』から、「自分で必要だから、興味があるから、習慣だから」やる。に切り替わっていくことであり、そのためには、『ご家庭のお力』が絶対に必要です。入学選抜試験等、目の前に超えるべきはっきりとした人生のハードルがない小学生は、なおさらのことです。そして、これは、中学生(高校生)になってから突然に身に付くものでもありません。学校では、タブレット端末を活用した家庭学習チェックシート、週1回の家庭学習提出日の提出により、お子さんの頑張りを認め・励ます指導を継続してまいります。繰り返しのお願いにはなりますが、ご家庭では、週末のタブレットでの目当てや振り返りの記入、毎日の時間や内容の確認、なにより、毎日の励ましや、認め・ほめる言葉を忘れずに、お子さんの主体的な学びの力を育てていけるよう、共に手を取りあって頑張ってくださいませ。

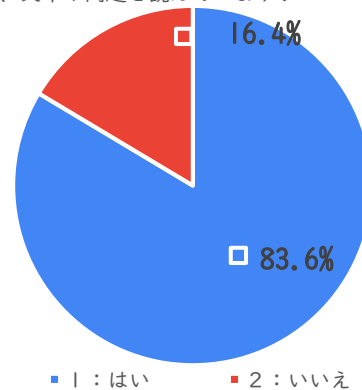
16. ゲームやスマートフォン、テレビ、インターネット、メール、SNS などについて、家での約束を守っていますか



17. 家でゲームやスマホ、テレビ、インターネット、メール、SNS などをする時間はどれくらいですか



18. 国語や算数の授業では、どこに気を付けて読んだらよいかを考えて、文章や問題を読んでいますか

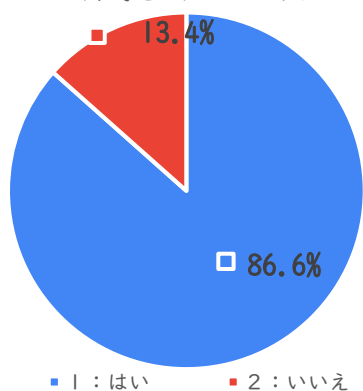


16. 電子メディアを使用する際に、家での約束を守っているかどうかの質問はほぼ変化がありませんでした。(約1.5%の微減です。) 時間でみると、1日1時間程度以内に収まっているのは、全体の44.7%でやや改善したものの、2時間で収まっている児童は66.4%で、昨年後期に比べ8%近く悪くなっています。(目標は2時間!).

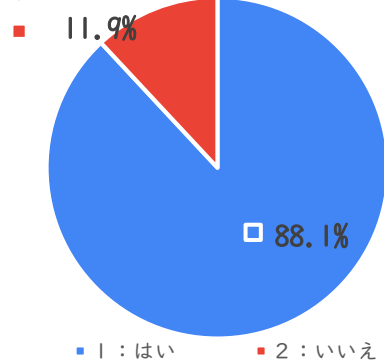
一方、1日3時間以上メディアにふれている児童の割合は、約3年前から26.1%(R2後)→32.0%(R3前)→30.1%(R3後)→27.7%(R4前)→27.7%(R4後)→27.3%(R5前)→25.5%(R5後)と、やや改善の傾向で推移していたものの、今回は、33.5%(R6前)と、8%悪くなっています。また、かなり気になるのが、毎日『5時間以上』電子メディアに触れていると回答した児童が、全体の15%近くいるということです(昨年比7.4%増加)。

アウトメディア読書データの取組は、学校での啓発・指導の意味で行っているものですが、「その実践の場は家庭です。」先日全市の小学校456年生・中学校で行ったアンケートでは、他校に比べ、自分用のスマートフォンやタブレットを買い与えられているお子さんが、かなり多いという実態もわかりました。あらためてお子さんと「一日の使用時間の約束」「使い方の約束」を確認するとともに、特にスマホやSNS、インターネット接続の際は、トラブルに巻き込まれない・トラブルを生まないネットモラルやマナーについてもご指導をお願いいたします。

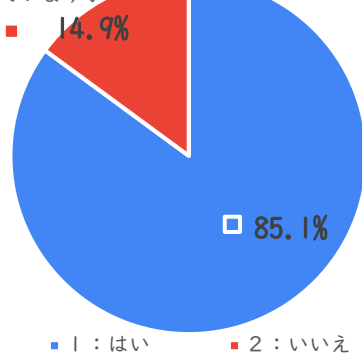
19. 国語の授業では、その日の課題や単元のゴールを意識して、勉強の計画を立てたり、考えたりしていますか



20. 算数の授業では、その日の課題を意識して勉強したり、分かったことをまとめたり、その日の学習を振り返ったりしていますか



21. 授業中、問題の解き方や、考えたことが、伝えたい相手に伝わるように、ノートやタブレットに書いていますか



18から21までの質問は、学校の授業に関する質問ですので、18から21までの回答数値がよくないということは、「学校が授業改善をより意識しなくてはいけない」ということだと考えます。

例えば、18.の質問からは、約15%のお子さんが、教科書の文章や、問題文を読んだときに、気を付けるべきポイント(数字、中心となる言葉など)を意識していない、もしくは、理解していないことがわかります。これは、家庭学習で、国語の読解問題や算数の文章題を解くときにもとても大切なことです。

また、19.20.の質問では、約1割のお子さんが、その日、その単元の課題意識、その日の学習の振り返り(理解できたこととそうでなかったことなどの整理等)が十分でないことがわかります。同様に、日常的なノートやタブレットの学習での使い方でも、相手意識をもって学習することに難しさを感じているお子さんが一定数いることもわかりました。

学校では、引き続き、子どもたちが、授業中に、課題意識・目的意識をしっかりとって主体的に取り組めるような工夫、また、その日、自分が何を身に付けて、何が課題だったのかを振り返る工夫、そして、相手意識をもって、ノートやタブレットを活用しながら他者と学び合える活動の工夫など、授業改善を続けてまいります。

保護者の皆様、お忙しい中にもかかわらず、

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。